



白河二中だより

NO. 2
2024. 4. 12
白河市立白河第二中学校
発行責任者 小野 聡

3年生の姿

『人のために尽くす心と態度』がたくさん見られる学校にしたい」との思いを始業式でも入学式でも伝えてきました。

入学式の翌日の朝には、3年生が式場の片付けを自主的に、そして、速やかに行う姿が見られました。また、新入生歓迎会では、生徒会活動や部活動について、新入生に分かりやすく伝えるために、話し合いを重ね、準備を進めてきた生徒会役員、各委員会委員長、各部活動の部長を中心として、丁寧な、そして、ユーモアも交えながら、説明や紹介が行われました。「学校のために」、あるいは「1年生のために」という思いがしっかりと伝わる行動、活動に、3年生としての自覚、後輩への優しさや思いやりを感じることができました。



10日(水)には各委員会の組織や活動目標、活動内容などが決定しました。3年生の丁寧な説明により、1年生も活動への見通しをもつことができたようですので、全員でアイデアを出し合いながら、それぞれの活動をさらに活性化させてほしいと思います。



また、部活動については、部活動結成式を22日(月)に行います。現在、1年生は、仮入部期間として各部の活動を見学したり、実際に体験したりしています。どの部に入るか悩んでいる姿も見られますので、是非、ご家庭でも相談に乗っていただければと思います。

次の文章は、「中学校生活で身につけてほしいこと」として、入学式で話した内容(抜粋)です。お読みいただければと思います。

中学校に1日も早く慣れ、充実した生活を送るために、3年間の中で身につけてほしいことを二つお話しします。

一つ目は、夢や目標を実現するために、自ら具体的な目標を立て、自分に厳しく行動する力です。中学校は小学校と違い、3年後には自分の選んだ道を進まなければなりません。将来を見据えながら、学習や部活動、様々な行事を通して、着実に、自分を鍛えていく必要があるのです。そのためには、我慢をすることが必要になることがあります。我慢は自分を押しえつける力です。自分の弱さや我儘と闘う力が必要です。世の中は、刺激的で楽しいものに溢れていますので、我慢ができない人は、次から次へと刺激的なものを追い求め、楽しいことだけを追いかけて、やがて、面倒なこと、つらいこと、苦しいことから逃げるようになります。そうならぬよう、我慢することも心がけてほしいと思います。

二つ目は、社会の中で生きていく力を身につけることです。そのために大切なことは、「挨拶」です。自分から挨拶することは、皆さんがこれから生きていくうえで、大きな財産となる大切な習慣です。明るい挨拶を交わすだけで、いろいろな人とのつながりが生まれ、世界が広がり、運命が変わると言ってもいいでしょう。また、相手の心が分かること、望ましい人間関係を築くことなど、豊かな社会性を身につけることも社会の中で生きていくために大切なことです。自分の言葉や行動が、相手にどう受け止められるのか、相手の心にどう響くのかを考えながら、人との関わり方、協力のしかたなどを学び、望ましい人間関係を築いてほしいと思います。